

地球環境と産業化研究会（S G E I S）

2023 第 13 回勉強会実施報告書

概 要

テーマ：脱炭素先行地域とは ― 実例から学ぶ！脱炭素地域づくり

内 容：日本は、2050 年カーボンニュートラルの達成のために、国・地方脱炭素実現会議が設置され、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する地域脱炭素の実現を目指し、「地域脱炭素ロードマップ」が策定されました。「地域脱炭素ロードマップ」では、少なくとも 100 か所の「脱炭素先行地域」において、2025 年度までに脱炭素に向かう先行的な取組実施の道筋をつけ、2030 年度までに実行することで、地域脱炭素を全国に広げることとしています。

地域脱炭素に向けた政策の方向性や県内の脱炭素先行地域の取り組みを知り、様々の世代の皆様と地域資源を生かした「脱炭素地域づくり」について意見交換を行った。

第一部：基調講演「地域から進める脱炭素」 兵庫県環境部環境政策課 副課長 満月卓氏

第二部：事例紹介「脱炭素先行地域」

- ①阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画 ～地域課題解決型！官民連携事業～ 尼崎市経済観光振興課長 西口雅史氏・環境創造課長 宗和素子氏
- ②淡路市「いつかきっと帰りたくなる街づくり」 官民連携によるゼロカーボンシティ×ローカル SDGs に向けた取組み 淡路市企画情報部まちづくり政策課課長補佐 伊藤篤史氏

日 時：2024 年 1 月 25 日(木)14 時 00 分～16 時 10 分(13 時 50 分開場)

(1) 14:00～14:05 主催者挨拶・進行について

(2) 14:05～14:45 第一部 基調講演（講演 35 分、質疑応答 5 分）

(3) 14:45～15:45 第二部 事例紹介（各々、講演 25 分、質疑応答 5 分）

(4) 15:45～16:25 意見交換

(5) 16:25～16:40 事務局連絡・終了、名刺交換会（自由参加）

場 所：中央区文化センター(神戸市中央区東町 115 番地)10 階 会議室 1002

参加者：16 名、うち学生 3 名（16 名、うち学生 3 名）（ ）の数字は参加申込者数

主 催：地球環境と産業化研究会

配布物

- 兵庫県環境部環境政策課、『地域から進める脱炭素 ～兵庫県の地球温暖化対策について～』【電子配布】
- 尼崎市経済環境局、『阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画』【電子配布】
- 尼崎市経済環境局、『阪神タイガーズファーム（2 軍）活性化寄付金』

- 淡路市企画情報部まちづくり政策課、『淡路市「いつかきっと帰りたくなる街づくり」官民連携によるゼロカーボンシティ×ローカル SDGs に向けた取組み』【電子配布】
- SGEIS 第 13 回「脱炭素と省エネビジネス」勉強会の案内チラシなど
- SGEIS 活動内容の紹介チラシ
- SGEIS 第 12 回「脱炭素と省エネビジネス」勉強会の講演資料

内 容

- **基調講演** 主な内容は次の 4 項目で、質疑で参加者 2 名からの発言があった。「温室効果ガス削減目標の達成見込み」、「家庭部門での温室効果ガス削減への施策」について議論された。
 - ✓ 兵庫県の地球温暖化対策推進計画の状況
 - ✓ 再生可能エネルギーの集中的な導入：脱炭素先行地域・重点対策加速事業について
 - ✓ 地域で取り組むエネルギーの地産地消：①北摂里山地域循環共生圏、②地域資源を活用した再エネ導入支援
 - ✓ 県民一人ひとりの行動変容に向けて
- **事例紹介①** 主な内容は次の 2 項目で、質疑で参加者 1 名からの発言があった。実行の脱炭素ドミノのための「モデルとなるポイント」について議論された。
 - ✓ 脱炭素先行地域：選定状況（尼崎市の選定）、事業イメージなど
 - ✓ ゼロカーボンベースボールパーク整備計画：スケジュール、小田南公園での取組、大物公園等での取組、阪神電車での取組など
- **事例紹介②** 主な内容は次の 2 項目で、質疑で参加者 1 名からの発言があった。「竹資源のエネルギー利用」について議論された。
 - ✓ 企業誘致の積極的な推進：職と住の一体化したコンパクトシティーの実現
 - ✓ ゼロカーボンに向けた取組：2050 年ゼロカーボンシティ宣言、地域エネルギー会社（地域新電力）設立、脱炭素先行地域づくり
- **意見交換** 次の 2 つの話題について、講師を含め参加者間で議論された。
 - ✓ **【若い世代との連携】** 兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員から話題提供があり、脱炭素地域づくりへの若者の参画や期待すること、自分事化について議論された。
 - ✓ **【地域資源】** 市街地では太陽光発電頼みであること、バイオマス利用への期待、エネルギー消費地である「住宅エリア（戸建て、集合住宅）」、「ビジネス・商業エリア（中小企業）」での省エネについて議論された。
- **その他** 運営スタッフとして兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員に参画いただき、司会進行も担当いただいた。

以上(世話人 土井淳 記)